

第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和6年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】
基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。
(達成率の印とその評価の目安)
◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%～100%)
△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%～90%)
▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

【目標値なしの事業について】
基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
住まい	住宅の質の向上	3	1	0	2	0	◎
	多様な住まいの確保	1	0	0	1	0	◎
	居住の支援の充実	7	5	0	2	0	-
		11	6	0	5	0	

◎○の割合(◎○の数／事業数) 54.5 %

「住宅の質の向上」について、船橋市住宅バリアフリー・断熱改修支援事業は福祉ガイド等を通じて事業の周知を行った結果、多くの市民が利用できるようになり、目標達成することができた。引き続き、支援事業の周知等に努める。

「多様な住まいの確保」について、親世帯・子育て世帯近居同居支援事業は令和6年度から対象者が一部変更となったことで目標値を下回った。引き続き目標を達成できるようHP等で周知に努める。

「居住の支援の充実」について、住まいの講演会及びマイホーム借上げ制度説明会は、前年度に引き続き、目標値に達することができた。また、住まいるサポート船橋については、目標値には届かなかったものの、成約件数については前年度と同程度であった。

第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和6年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

（達成率の印とその評価の目安）

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる（達成率100%以上）

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく（達成率90%～100%）

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要（達成率50%～90%）

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要（達成率50%以下）

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
予防	活動の場の提供	14	3	4	6	1	-
	健康づくりへの支援	9	1	1	4	3	-
	介護予防の推進	9	4	3	2	0	△
		32	8	8	12	4	

◎○の割合（◎○の数／事業数） 50.0 %

・「活動の場の提供」ふなばしシルバーリハビリ体操の指導士養成講座は、北部地区にも会場を設け市民が参加しやすい環境を整えた。今後は、各地域でも開催できるよう検討していく。公園を活用した健康づくり事業は、幅広く周知を行い事業実施公園数を増加する事ができたが、参加者や協力団体員の高齢化により、事業から撤退する公園も出てきており、事業実施公園数の増加に向けて関係機関等に事業説明に出向く等、アプローチを続けていく。老人福祉センターの利用者数については、指定管理者による管理運営を行うとともに、指導、監督を行った。また、施設利用者が参加する「歌ごえ健康広場」や「リズムダンス」などの新規事業の企画・実施、施設の不具合箇所を修繕することで高齢者利用における環境整備に努めた。

・「健康づくりへの支援」健康ポイント事業は、広報ふなばしへの掲載に加え、包括連携協定を締結している企業でのチラシ配布や、健康づくり課事業の発送物における健康ポイント事業の案内等、様々な周知活動を行った結果、参加者数の目標を達成することができた。今後は、参加者にとってより利便性が高い事業となるよう、検討を進めていく。市内飲食店等における健康的な食事提供による食環境の整備については、SNSや食育展、ふなばし健康まつり等で登録店をPRし事業の普及を図った結果、目標数に近い店舗数となった。今後は、市民への普及が課題であるため、協力店と食育関係各課、学校、関係団体等との連携による事業展開等を検討し、進めていきたい。

・「介護予防の推進」では、介護予防ケアマネジメントの自立支援強化のための検討会議の開催数を集中化・効率化したことで総開催数は減少したものの、ケアマネジャーへの適切な助言を行えた。ふなばし市民大学校では、今年度は予定どおり講座を実施することができた。今後も引き続き社会情勢や学生の意見や要望を捉え、カリキュラムを作成し、講座を実施していく。公民館の高齢者対象講座は、様々な事業を企画して実施し、多くの方にご参加いただいた。今後も計画の進捗状況及び市民からの要望を踏まえ、継続して事業を実施していく。今年度は公民館以外の町会・自治会館等でも事業が開催されたこともあり、ふれあいいきいきサロン事業の実施回数が目標を上回った。また、ミニデイサービス事業は目標を下回りはしたが、昨年度より実施回数が増加した。多くの地域住民が参加できる方法を検討し、今後も継続して事業を実施していく。健康スケールについては、令和6度もこの分析結果を基に市民ヘルスマーケティングにおける根拠資料として活用した。

第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和6年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

（達成率の印とその評価の目安）

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる（達成率100%以上）

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく（達成率90%～100%）

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要（達成率50%～90%）

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要（達成率50%以下）

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
生活支援	生活支援サービスの提供	25	7	10	8	0	-
	移動支援	7	4	1	0	2	○
	地域での支え合い体制の確立	7	3	2	2	0	○
	その他	8	6	1	1	0	○
		47	20	14	11	2	

◎○の割合(◎○の数／事業数) 72.3 %

「生活支援サービスの提供」については、ファミリー・サポート・センターの利用件数やふれあい収集事業の利用世帯数が増加し、生活支援サービスのニーズは高いことが伺える。その一方で、生活・介護支援サポーターや生活支援サービスを担うボランティア数は減少傾向にあり、担い手の確保が大きな課題となっている。

「移動支援」については、高齢者支援協力バスの利用登録者数・延利用者数などが目標値を上回った。また、公共交通不便地域の解消を目的として、坪井地区で11日間のグリーンスローモビリティ実証運行を実施し、地域での需要を確認することができた。

「地域での支え合い体制」については、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類感染症に移行し、集合・対面方式の事業が従来どおり開催できるようになってきたことで、ふれあいいきいきサロン事業やミニデイサービス事業の実施回数が昨年度より増加した。また、生活支援コーディネーターの活動の活性化のため、生活支援コーディネーターや市職員、「保健と福祉の総合相談窓口 さーくる」相談員等が参加したフィールドワークを実施し、地域資源の把握や関係者とのネットワークを構築した。また、住民主体の生活支援サービス作業部会を設置し、関係機関へのアンケートや方向性の検討を行った。

第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和6年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

（達成率の印とその評価の目安）

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる（達成率100%以上）

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく（達成率90%～100%）

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要（達成率50%～90%）

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要（達成率50%以下）

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
介護	介護サービスの量の確保	0	0	0	0	0	○
	介護サービスの質の確保	7	2	2	3	0	-
	多様なサービスの提供	0	0	0	0	0	○
	地域包括支援センターの機能強化	11	6	3	2	0	-
	認知症対策の推進	20	9	1	9	1	○
	介護サービスの円滑な利用	10	5	2	3	0	◎
	その他	5	5	0	0	0	△
		53	27	8	17	1	

◎○の割合（◎○の数／事業数） 66.0 %

「介護サービスの質の確保」では、介護人材の確保について、各事業の拡大により目標達成を図ったが、結果として目標未達となった。引き続き、各事業の推進を図り、介護人材の確保に努めていく。また、訪問看護職員雇用促進事業については、目標値を下回ったが、概ね計画に沿って実施されていると評価できる。

「地域包括支援センターの機能強化」では、小室サブセンターを新たに設置し機能強化を進めることができた。各相談窓口における相談件数については目標値を上回った。地域ケア会議の推進・地域課題への取り組みについては、全24地区コミュニティで各4回以上全体会議を開催することができた。今後も引き続き相談窓口として周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。

「認知症対策の推進」では、認知症地域支援推進員の設置、認知症サポーターの養成数について目標値を達成した。一方で、認知症カフェ運営補助金交付件数やチームオレンジ体制整備、認知症家族交流会の参加者数については目標値を下回った。今後は、船橋市認知症施策推進計画の策定に向け、各施策の強化、見直しを図っていく。

「介護サービスの円滑な利用」では、出前講座等の一部については目標値を下回ったものの、利用者負担助成事業及び介護老人福祉施設利用者負担対策事業については、広報ふなばしや集団指導にて周知を図ったことで、低所得者のサービス利用が確保され、概ね計画に沿って実施されている。今後も引き続き制度の周知に努め、サービス利用の確保を図っていく。

「その他」では、高齢者虐待防止の体制として、それぞれの会議体や研修について目標値の達成ができていく。引き続き、警察通報や地域住民からの通報をもとに高齢者虐待の未然の防止や対応を行っていく。

第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和6年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

（達成率の印とその評価の目安）

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる（達成率100%以上）

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく（達成率90%～100%）

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要（達成率50%～90%）

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要（達成率50%以下）

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
医療	在宅医療の推進	11	8	1	1	1	◎
	地域医療連携の推進	0	0	0	0	0	◎
	看護職の確保	1	0	1	0	0	-
	地域リハビリテーションの推進	2	0	1	1	0	-
	歯科口腔保健の推進	2	2	0	0	0	-
		16	10	3	2	1	

◎○の割合（◎○の数／事業数） 81.3 %

「在宅医療の推進」では、地域包括ケアシステムの根幹となる在宅医療・介護を市民へ普及するために、出前講座や在宅医療・介護連携推進事業である講演会・相談会・出張講演会を開催した。出張講演会は、開催回数が目標未達であったが、全体を通して、市民や開催団体からは好評であった。事業の特性により、Zoom等のオンライン開催も有効に活用しながら、船橋在宅医療ひまわりネットワークの各委員会活動を行った。また、在宅医療・介護関係者の研修会等も実施や在宅医療推進に係る市民への普及啓発として市民向けの講座であるふなぽーと市民公開講座についても開催することができた。

「船橋市在宅医療・緩和ケア・リハビリテーション提供機関マップ“ひまわりマップ”」については、毎年度作成し、医療・介護関係者に配布を行った。

「地域医療連携の推進」では、かかりつけ医等について、イベントや講演会等でチラシを配布に加え、小児救急ガイドブック、アクティブシニア手帳等に、かかりつけ医等の推進に関する記事を掲載するなど、かかりつけ医等の推進を図った。令和6年度も、かかりつけ医を持つことについて推奨するイメージ画像を市内複数箇所のデジタルサイネージにて放映する等、積極的に普及・啓発を行った。

「看護職の確保」については、今後も、看護職復職支援研修会にて潜在看護師の復職に向けた支援を行い、看護師等養成修学資金にて市内の医療機関や介護施設といった指定施設への就職を目指す看護学生の支援を行うことで市内の看護師の充足を目指す。介護保険訪問看護職員雇用促進事業については、目標値を下回ったが、概ね計画に沿って実施されていると評価できる。

「地域リハビリテーションの推進」については、町会・自治会等からの開催要望が想定していた回数より少なかったこともあり、目標回数を下回ったが、全体を通して、参加者からは好評であった。引き続き、地域リハビリテーション拠点事業として、リハビリ関係者向け地区勉強会、リハビリ関係者向け研究大会、市民向け講演会を開催し、地域リハビリテーションの推進を図っていく。

「歯科口腔保健の推進」については、令和5年度に引き続き、コロナ禍以前の規模で実施することができた。今後も口腔ケア講習会や市民講演会を通じて、口腔ケアの重要性についてさらなる周知を図っていく。また、訪問歯科診療（さざんか・かざぐるま）事業についても情報提供や診療所の周知を図っていく。